

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：保育室ピア・ピア	種別：地域型保育事業	
代表者氏名：秋元 秘路子	定員（利用人数）：11名(11名)	
所在地：横浜市保土ヶ谷区天王町1-7-2	グレースフタバ1F	
TEL：045-331-8133	ホームページ： https://pia-pia.yokohama/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成23年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人ピアわらべ		
職員数	常勤職員：5名	非常勤職員：10名
専門職員	（専門職の名称）	
	管理者：1名	
	施設長：1名	保育士 8名
	保育士：2名 栄養士：1名	調理員 2名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	乳児室（0～2歳児室）	2室
	調理室	1室
	トイレ	1室
	事務室・職員休憩室	1室
	（設備等）	
	鉄筋コンクリート造 6階建て	
	延べ床面積 91.81㎡	
	1F 保育室 62.25㎡	
	3F 事務室・休憩室 29.56㎡	
	園庭 17.2㎡	

③ 理念・基本方針

【保育理念】

すべての子どもが健やかで心豊かに育つよう、ひとりひとりの思いを大切にしていきます。

【保育方針】

1. 家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとりの育ちや個性を大切にします。
2. 親子に寄り添いながら一緒に子育てを考えていきます。
3. 安心して預けられる場、安全な保育環境を提供します。
4. たくさんの人とのつながりの中で子どもたちに育ってほしいと願っています。近隣保育園や子育て施設などと連携して、より良い保育を目指します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

保育室ピア・ピアは相鉄線天王町駅から徒歩3分、天王町商店街の中にある、小規模保育園で0～2歳まで、11名(定員11名)が在籍しています。園舎は6階建てマンションの1階にあります。保育室前の通りは交通量が少なく、子どもがのんびり、ゆっくりと散歩に出かけられる環境にあります。近隣には多くの保育園、公園、雨の日に

遊べる地区センターがあります。

【園の特徴】

子育て中の親子に寄り添い、子育てを応援したいという思いで、保育士仲間が集まって平成15年4月にNPO法人ピアわらべを設立し、事業の一環として保育室ピア・ピアを設立しました。

当園は少人数でゆったりのおんぶりと過ごせる、家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの育ちを大切にしたい保育を行い、親子に寄り添い、子育てのパートナーとして保護者と一緒に子育てを考えています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年 9月 9日（契約日） ～ 2021年 3月 19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 一 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子ども一人ひとりに寄り添った保育

職員は子どものわずかな表現を見逃さず、言葉にし、子どもの気持ちを受け止めることを意識しています。子どもが思いを安心して出せるように、やりたくない気持ちも態度に表せるように配慮しています。

公園の砂場で遊びに夢中な子どもたちに、「そろそろ保育園に帰ってお給食食べようね」と言葉をかけ、子どもの「まだ遊びたい」「帰りたくない」気持ちや態度に配慮しています。子どもの様子を見ながら「まだ 遊びたいよね」と言葉をかけ、間において「続きは保育園の砂場で遊ぼう！」と、子どもが帰る気持ちになるのを待っています。

2. 地域との交流による子どもの育ちの保障

「たくさんの人とのつながりの中で子どもたちに育ってほしいと願い、近隣保育園や子育て施設などと連携して、より良い保育を目指します」の保育方針のもと、公立保育園と連携して園庭利用やイベント参加などの交流を図っています。また、近隣の子育て施設を積極的に利用しています。特に2歳児は、近くの保育園と合同で遊ぶ機会を継続的定期的に設けています。

3. 保護者と連携した運営会議の開催

年2回 職員、保護者、第三者委員、有識者の参加で運営会議を行っています。保護者から意見が出やすいように議題は事前に配付し、より良い保育室にするための意見交換の場として開催しています。また、同日に交流会、試食会も行っています。

今年度、2月にはオンラインで行い、保護者からは「子どもに寄り添い、親の話も聞いてもらい、不安や心配が減った、保育士の先生方や他の保護者の方、また友だちの兄弟と多くの方に関わってもらっての子育てで助かってます」との意見をもらっています。

◇改善を求められる点

1. 職員の各種会議の効率化

各種会議の仕組みは整えられていますが、会議の運営にあたっては 議題を明確にし、事前に議題と会議の目的を記載したものを配付して、参加者が意見をもって主体的に参加できるようにすることが望まれます。また、会議の結果を文章化し、職員に

配布して、全職員が協働して課題解決に向かいやすくすることが期待されます。

2、安定した人材の確保と育成

小規模保育園のため、人材に余裕を持つ資源がなく、職員体制はぎりぎりの状況です。安定的な保育運営のために必要な人材確保、職員の評価に基づく処遇の改善等について検討されることが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて

「子どもひとりひとりに寄り添った保育」を特に評価の高い点として評価していただけたことは、日々子どもたちと向き合って保育をしているスタッフの頑張りを第三者の方に評価をしていただけたことになり、とてもうれしことだと思いました。その保育を継続していくためにも、改善点でもご指摘いただいたように様々な会議の議題の事前配布、結果の文章化を行うために、担当をしっかりと決め効率化を図っていきます。

また、もう一点の課題ですが、保育士不足の状況下で、「子どもひとりひとりに寄り添った保育」を継続していくための人材確保については、今後も継続的課題です。法人内の他の事業や地域との交流の中で培われる関係の中で法人の理念に賛同していただける人材を確保し、小規模保育事業につなげていきたいと思えます。

何よりも「子どもひとりひとりに寄り添った保育」を今後も継続していくため、第三者のかたに評価していただけたことで、保育、帳票、仕組み等様々な事を見直すよい機会となりました。

今と未来を生きる子どもたちの育ちに携われることに改めて喜びと責任を感じることができました。

管理者

秋元 秘路子